

# 待ち時間はTOKONAMEへ

中部国際空港（常滑市）を利用する訪日外国人らに、乗り継ぎや搭乗待ちの時間を活用して常滑市内を周遊してもらう体験型おもてなしツアーが七日から始まる。企画する「知多半島ナビ」の榎原裕高代表は「飛行機の待ち時間で、地元の人しか知らないような体験をしてもらいたい」と話している。

（小西敦紀）

ツアーには、中国語、英で常滑市内を周遊してもらう語を話せる観光ガイドが付く。前日午後二時までの予約、徒歩かレンタサイクル約が必要。



レンタサイクルで海岸を周遊できる体験ツアー。常滑市りんくう町で

## 空港利用外国人向け周遊企画 あす開始

所要時間に合わせ計十コ誘導したり、トランジットコースを用意。空港ターミナル客の待ち時間を使った短時間巡ったりイオンモール間の観光ツアーを展開したで買物したりする一時間りするのは、空港開港当初程度のコースから、レンタサイクルから海や市中心部訪日外国人客の増加を受け、空港島内ではホテルの「やきもの散歩道」を周遊、新築や増築が相次いでお着物の着付けが体験できたり、今後は、搭乗までの待ち時間空港周辺で過ごすまで、多彩なメニューがある人がさらに増加することが。料金は無料一万一千円予想される。

円で交通費が別途必要。こうした旅行客向けにツ中部空港とイオンモールの提供することで、空常滑、常滑市などが協力し港のサービス充実と知多半島知多半島の活性化を目指す「CHITACATP」空港会社の担当者は「攻めプロジェクト」の一環。八月の姿勢でツアー化した。空からは、空港と連携協定を港利用客に常滑の街を観光結ぶ金城学院大（名古屋）の学生もガイドとして加わる。空港利用客を常滑市内へ思い描いている。



① ツアーではやきもの散歩道を巡ることができる。同市栄町で  
② 漬物の漬付け体験や、お茶室でお茶席も楽しめる。同市  
③ 経江本町の常盤堂で